

情報共有

非管理メモ

手許資料

8/14 16:10 FAX

1枚

8月14日 福島地域支援室における15時からの定例レク概要をお知らせします。

8/14 (日) 15時定例レク概要

NISA 742

福島連絡班

【説明内容】

- ① 「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ
(8月14日 午前10時現在)」【資料配付】
- ② 福島第一原子力発電所プラント関連パラメータ
(8月14日 12:00現在) 【口頭説明】
- ③ 「蒸発濃縮装置 薬品注入設備系統」【資料配付】
 - ・ホース締め付け部分が温度高により緩み、外れた
 - ・対策として、増締め、固縛を実施
 - ・類似の8箇所も同様の対策を実施
 - ・6m3の薬液が漏えいし、回収後再起動予定(準備中)
- ④ プラントの状況、本日の作業状況等について【口頭説明】
 - 循環注水冷却について
 - ・ 継続中
 - 窒素封入について
 - ・ 継続中
 - 水処理装置について
 - ・ ベッセル3塔交換作業実施中
 - 2, 3号機滞留水の移送について
 - ・ プロセス主建屋への移送継続中

【主な質疑】

- Q. 漏えいした6m3の薬液の回収とは、拭き取りを行うのか。
- A. おそらくポンプ等で吸い上げ、その後拭き取りを行うと思われる。
- Q. 漏えいした炭酸ソーダは、放射能を帯びているのか。
- A. 放射能は帯びていない。

以上

以上

=====
8/14(日)19時30分定例レク概要

【説明内容】

- ①・福島第一原子力発電所敷地内における
空気中の放射性物質の核種分析の結果について(第百四十二報)
 - ・福島第一原子力発電所付近の
海水からの放射性物質の核種分析の結果について(第百四十四報)
 - ・福島第一原子力発電所取水口付近で採取した
海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について(8月13日採取分)
 - ・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果 【全て資料配付】

②福島第一原子力発電所の状況【資料配付のみ】

③本日の作業状況、明日の作業予定について【口頭説明】

<循環注水冷却について>

- 各号機への注水について
 - ・1～3号機ともに、継続実施中。

<水位について>

- 1～4号機T/B地下階について
- 1～3号機トレンチ立坑について
- 1号機R/B地下階について
- プロセス主建屋について
- 雑固体廃棄物減容処理建屋について
- サイトバンカ建屋について

<1号機>

- R/Bカバー設置工事について

<2号機>

- プロセス主建屋へのたまり水移送について

<3号機>

- プロセス主建屋へのたまり水移送について

<4号機>

- SFPからスキマサージ補給実施について
 - ・16:14～16:41に実施。

<6号機>

- 仮設タンクへのたまり水移送について
 - ・本日は、移送なし。明日は、実施予定。
- 仮設タンクからメガフロートへのたまり水移送について
 - ・本日10:00に停止。
 - ・メガフロートへの移送は、しばらく中断。

<水処理関連>

- キュリオンのベッセル交換について
 - ・本日、3塔交換。明日は、交換予定なし。
- サリーの通水試験について
- 淡水化装置(蒸発方式)について
 - ・東芝2Bの起動操作は、明日AMの予定。

<その他>

- 港湾関連施設の改修工事について
- 大型タンク設置作業について
- 循環型海水浄化装置について

- 福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ(8月14日 午後3時現在)
- 福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ(8月14日 午後3時現在)
- 【新規事項がないためレク時は未配付、投げ込みのみ】

【主な質疑】

- Q. 建屋カバー関連作業において、R/B西側壁面に付き出ししている

ものを撤去する予定、とのことだが、その付き出しているものは、R/Bの一部だったものか？

- A. 水素爆発によるものと考え、カバー設置の際に干渉するのを防ぐため撤去する。
なお、このような作業は、以前から実施しているもの。

Q. 本日の水処理量は、どの程度だったか？

- A. 1.0時の時点で、45m³/h。

Q. (雨やろ過水の影響もあるのだろうが) 滞留水処理があまり進んでいないように感じるが、どう考えているか？

- A. 雨の影響は少なからずあるものの、ろ過水の影響は、ここのところないと考える。(徐々にではあるが) 1u~4uの貯蔵量は、減少傾向にある。

Q. 45m³/hと聞いて、以前よりも処理量が向上している印象があるが、プロセス主建屋の水位が上昇している。(なぜか？)

- A. プロセス主建屋の水位については、2u3uからの移送が(揚程の関係で定格以上に移送して) 45m³/hを上回っている模様。
水処理量<移送量であるために、プロセス主建屋水位が上昇傾向にある。
サリー試運転による全停時に、45m³/hの要因(キュリオン装置)について、調査する予定。

以上